

第2回
グループ1 発表

実験内容 1

■メールリスト管理

実験の目的

- メールリストの高度な管理を身につける。
- メールリストを使いやすく。

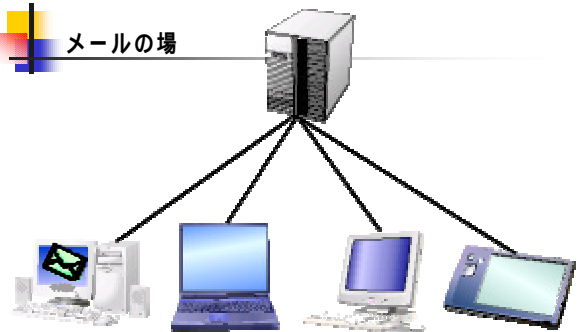
詳しい説明(用語説明など)

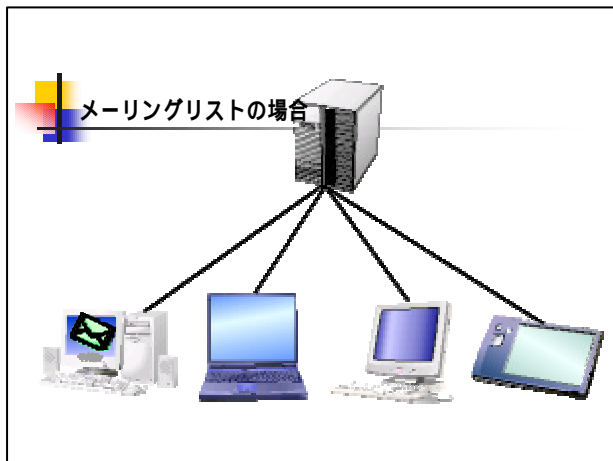
- メールリストの意義、特性
- メールリストサーバの役割
- 管理ポリシー

メールリストの意義、特性

- 同じメールをグループのメンバーに送りたい場合、それをひとつひとつ送っていたのでは非常に手間がかかる。

メールの場





- **メーリングリストサーバの役割**
- メンバーから送られてきたメールを人数分複製
 - メンバーのそれぞれのアドレスに配送

- **管理ポリシー**
- ネットワーク上での管理体制をどの程度にするかということ。
 - メールサーバの管理者がメール容量の上限を決める。

- **作業内容 1 - 1**
- 1. MLへのユーザの自動登録
 - これまでは管理者が行っていたユーザ登録を、ユーザ側で行えるようにする。

- **作業内容 1 - 1 (1)**
- Makefml_config_グループのサーバ名 というコマンドを入力。
(実行はfmlをインストールしたときのアカウントで)
 - 0 ~ 7の番号で1 : POLICY OF ACCESS を選ぶ
 - POLICY OF ACCESSの中の
2: WHEN_POST_FROM_NOT_MEMBER を選ぶ
 - 2: auto subscribeという項目がある。
これはfml3.0で自動登録をする という設定

- **作業内容 1 - 1 (2)**
- 0 ~ 7まで選択する場面に戻り、次は
2: REGURATION METHOD TYPEを選択
 - REGURATION METHOD TYPE の中の
1 ~ 3までの設定を、各班のポリシーに従って行う。

作業内容 1 - 2

- 2.ヘッダの設定によりSubjectヘタグを
付加する
- 今までのメールでは
Subject: 実験つらい
- タグを付けると
Subject: [test-ml:0001]実験つらい

作業内容 1 - 2

- Makefml config グループのサーバ名 で
5: HEDDER CONFIGURATIONS を選択する
- HEDDER CONFIGURATIONS 内の
1: SUBJECT TUG TYPE
2: SUBJECT TUG FIGURE
の二つの項目を変更する。

作業内容 1 - 3

- 二つの作業の動作確認を行う。
- 自動登録の動作確認は、メールをメーリン
グリストに送る際に、Subjectをsubscribeと
書く。

実験内容 2

■ SPAMメール対策

用語説明

- SPAMメール
- フィルタリング

SPAMメール

- 不特定多数にばらまかれる迷惑メール
- なかには、不正な処理を行ってヘッダ情報
を書き換えたりするものもある。
- 中継をさせられたサーバは、膨大なデータ
を処理する羽目に...

フィルタリング

- 容量の大きすぎるメールを削除
- SPAMメールの中継を拒否

作業内容 2 - 1

- メールサイズの最大値を設定する。
- 容量の大きいメールが送られると、サーバがダウンしてしまうこともある。これを防ぐ為にメールサイズの最大値を設定する。

作業内容 2 - 1

- makefml edit グループのサーバ名 で大量の文字が流れたあと
YOU CAN EDIT MANUALLY AFTER HERE

1;
と表示される。

作業内容 2 - 1

- これを
YOU CAN EDIT MANUALLY AFTER HERE

\$ INCOMING MAIL SIZE LIMIT = "1K"; (サイズ設定)
\$ NOTIFY MAIL SIZE OVERFLOW = 1; (通知)

1;
と変更する。メールサイズの設定は各班のポリシーに合わせる。

作業内容 2 - 2

- 投稿拒否するメールアドレスを設定
- SPAMメールの発生源となっているサイトやIPアドレスをあらかじめ指定しておくことで、その投稿を拒否できる。

作業内容 2 - 2

- makefml edit グループのサーバ名 で流れる大量の文字の中から

\$ REJECT ADDER = "root | postmaster | MAILER-DOMAIN | msgs | nobody |(以下略)

という文字列を見つけ出す。これは着信拒否をするメールアドレスの初期設定である。
rootの前に拒否したいアドレス (@の前の部分)を追加。

作業内容 2 - 3

- メール拒否を通知する設定に変更
- 投稿拒否された相手側に、故障などではなく「あなたのメールを拒否している」と知らせるように設定を変更する。

作業内容 2 - 3

- Makefml config グループのサーバ名 で 7: SECURITY & FILTERING を選ぶ
- ここでの項目、2: FILTER ATTRRIBUTE は配信フィルタのオプション設定になっている。この内部に、配信を拒否したことを通知する設定があるので、それを YES に変更する。

ありがとうございました